



イスラーム過激派：「イスラーム国」が日本人2名の処刑を予告 #1

2015年1月20日昼ごろ（日本時間）、インターネット上で「イスラーム国」が日本人2名に対し処刑を予告する映像が出回った。映像には「日本政府と人民へのメッセージ」とのタイトルが付されている。「イスラーム国」は、日本政府が「イスラーム国」対策として総額2億ドルの拠出を表明したことを非難、人質1名につき1億ドルずつ、計2億ドルを72時間以内に支払うことが両名の生命の値段であると主張、日本の世論に対し、「賢明な選択をするよう政府に圧力をかける」よう脅迫した。



写真：「イスラーム国」が作成した日本人人質2名の処刑予告映像より

評価

問題の映像は、「イスラーム国」が擁する広報部門の中で最も歴史と権威がある「フルカーン広報製作機構」のロゴが付されており、これが「イスラーム国」の公式の映像であることは間違いない。映像が出回った時間帯を考慮すると、「72時間」の時限は23日昼ごろ（日本時間）になるものと思われる。

一方、「イスラーム国」の要求事項は、2014年夏以来斬首を繰り返してきたアメリカ、イギリスと異なり、身代金の要求である。ここには、「イスラーム国」が同派にとって非妥協的な敵対関係にあるアメリカやイギリスと異なり、日本政府や社会が脅迫に屈する可能性があるとの判断が働いている可能性もある。

（イスラーム過激派モニター班）

◎本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

◎各種情報、お問い合わせは中東調査会 HP をご覧下さい。URL：<http://www.meij.or.jp/>